

「わが図書館ならではの本！！」

～ 南さつま市 ～

海の上の図書館～「坊泊海洋図書」について～

南さつま市立坊津図書館

かつて、南さつま市坊津の坊泊地区には、「坊泊海洋図書」という『海の上の図書館』がありました。鰹漁業の盛んだった戦後初期、坊津の男子は小学校卒業後、すぐに船乗りになるケースが多く、一般教養の場に恵まれない環境を打破すべく、「坊泊海洋図書」が誕生しました。

図書箱に、少年向け児童小説や航海術・海技免許の専門書などを積み込み、昭和34年に初出航。船内では自由に読書ができました。

やがて、漁船の大型化により漁場もサイパンやソロモン諸島まで拡大され、航海日数も1カ月を超え、漁船員の読書熱も一段と高まりました。最盛期の蔵書数は約4千冊に及び、昭和48年には読書推進運動協議会から全国優良読書グループとして表彰を受けています。

その後、坊津の漁業の衰退と共に海洋図書も消滅しましたが、坊津図書館では、当時使用されていた図書箱と児童書を展示しています。

図書館に臨む海より出航する船を眺めながら、坊津の失われた歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



坊津図書館に展示している図書箱と児童書

- 参考文献** 「坊津町行政誌」 鹿児島県坊津町役場編
「坊津町のあゆみ」 坊津町
「読書推進運動協議会の二十年」 読書推進運動協議会